



## CHAPTER 28

# Cisco Unified Communications Manager Assistant の使用方法

Cisco Unified Communications Manager 一括管理 (BAT) を使用すると、Cisco Unified Communications Manager の Cisco Unified Communications Manager Assistant 機能を管理できます。BAT では、マネージャやアシスタントの IP Phone を追加できます。詳細については、次の項を参照してください。

- 「プロキシ回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定」 (P.28-2)
- 「シェアドラインモードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定」 (P.28-8)

マネージャまたはアシスタントとそのアソシエーションをバルク トランザクションで追加、更新、および削除できます。詳細については、「マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成」 (P.28-10) を参照してください。

次のトピックでは、BAT を使用して Cisco Unified CM Assistant を管理するためのオプションについて説明します。

- 「Cisco Unified Communications Manager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入」 (P.29-1)
- 「マネージャとアシスタントのアソシエーションの削除」 (P.30-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager からのマネージャの削除」 (P.31-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除」 (P.32-1)

Cisco Unified CM Assistant の詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』
- 『Cisco Unified Communications Manager Assistant User Guide』

# Cisco Unified Communications Manager Assistant で使用する電話機と回線の概要

Cisco Unified CM Assistant 機能は、いくつかの Cisco Unified IP Phone モデルとデバイス プロファイルに対して利用できます。Cisco Unified CM Assistant には、マネージャとアシスタントの回線で Cisco Unified CM Assistant 機能を利用するための設定モードとして、次の 2 つが用意されています。

- プロキシ モード：プライマリ マネージャ回線は、アシスタントの電話機とは異なる電話番号を持つプロキシ回線と関連付けられる。詳細については、「[プロキシ回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定](#)」(P.28-2) を参照してください。
- シェアドライン モード：マネージャとアシスタントの電話機がシェアドラインを持ち、同じ電話番号とパーティションを使用する。詳細については、「[シェアドライン モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定](#)」(P.28-8) を参照してください。



(注)

ユーザをデバイスや電話機に関連付けられるのは、Unified CM Assistant がサポートされている場合だけです。

BAT を使用して、マネージャとアシスタントの電話機に、プロキシ回線またはシェアドラインを設定することができます。

## プロキシ回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定

マネージャの電話機とアシスタントの電話機が Unified CM Assistant プロキシ回線をサポートするよう設定するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードを使用して、システムに Unified CM Assistant の要件を設定することをお勧めします。このウィザードは、Unified CM Assistant マネージャとアシスタント、ルートポイント、パーティション、トランスレーションパターン、および Cisco Unified CM Assistant サービスのコーリングサーチスペースについて、電話機テンプレートを自動的に作成します。Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードを実行するには、BAT とウィザードが同じサーバにある必要があります。Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードの実行方法については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド*』を参照してください。



(注)

Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードは、システムの Unified CM Assistant 設定上の要件を設定するときに一度だけ使用できます。この設定ウィザードを実行した後は、設定内容をウィザードで表示できますが、変更はできません。

2. マネージャとアシスタント用に新しい電話機とユーザを追加するには、Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードによって BAT サーバ上に作成される Unified CM Assistant マネージャと Unified CM Assistant アシスタントの電話機テンプレートを使用します。BAT テンプレートは、プロキシモードの電話機を設定する場合にだけ使用します。テンプレートの詳細については、「[Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャとアシスタントの電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」(P.28-3) を参照してください。

3. 既存のマネージャとアシスタントの電話機については、次のいずれかの方法を使用して、Unified CM Assistant 電話機テンプレートに対応するように変更できます。
  - BAT の回線の追加機能を使用して、既存の電話機を Unified CM Assistant 電話機テンプレートに類似した形式に変更できます。詳細については、「既存の電話機および UDP への回線の追加」(P.10-10) を参照してください。
  - マネージャとアシスタントの Unified CM Assistant 電話機テンプレートを使用し、元の電話機を削除して、新しい電話機を追加できます。「電話機の追加」(P.3-1) の新しい電話機の設定手順に従ってください。
4. マネージャとアシスタントについて電話機と回線を設定し終わったら、マネージャとアシスタントの回線を関連付けて Unified CM Assistant で制御できるようにします。Unified CM Assistant の回線設定については、「マネージャとアシスタントのプロキシ回線設定」(P.28-4) を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャとアシスタントの電話機テンプレートのデフォルト設定値

表 28-1 に、Unified CM Assistant マネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値を示します。

表 28-1 プロキシ回線用のマネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値

フィールド	デフォルト値
[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]	Softkey Template Standard Manager
[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]	Standard Cisco Unified IP Phone 7960 (2 lines)
回線 1	プライマリ回線 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_I_E</li> <li>• Partition = Generated_Managers</li> </ul>
回線 2	着信インターコム回線 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_I_E</li> <li>• Partition = Generated_Everyone</li> <li>• ヘッドセットでの自動応答のオプションも設定します。</li> </ul>
[サービス (Services)]	アシスタントプライマリサービス

表 28-2 に、Unified CM Assistant アシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値を示します。

表 28-2 プロキシ回線用のアシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値

フィールド	デフォルト値
[ソフトキーテンプレート (Softkey Template)]	Softkey Assistant
[電話ボタンテンプレート (Phone Button Template)]	Standard Cisco Unified IP Phone 7960 Assistant
拡張モジュール 1	14 ボタンの拡張モジュール

表 28-2 プロキシ回線用のアシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値

フィールド	デフォルト値
電話機本体上の 1 回線と拡張モジュール上の 5 回線	プロキシ回線では、電話機本体上の 1 回線と拡張モジュール上の 5 回線が、デフォルトで次のように構成されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_M_E</li> <li>• Partition = Generated_Everyone</li> </ul>
回線 7 (拡張モジュール上)	インターコム回線 <ul style="list-style-type: none"> <li>• CSS = Generated_CSS_I_E</li> <li>• Partition = Generated_Everyone</li> <li>• ヘッドセットでの自動応答のオプションも設定します。</li> </ul>

## マネージャとアシスタントのプロキシ回線設定

BAT は、電話機のプライマリ マネージャ回線をアシスタントの電話機のプロキシ回線にマッピングすることで、Unified CM Assistant 回線設定を割り当てます。Unified CM Assistant ウィザードで作成した Unified CM Assistant マネージャと Unified CM Assistant アシスタントのデフォルトのテンプレートを使用すると、1 ～ 5 回線のマネージャ回線を 1 人のアシスタントの電話機に関連付けることができます。Unified CM Assistant テンプレートによって設定された電話機について、次の例では、2 つのマネージャの電話機を 1 つのアシスタントの電話機に関連付ける場合の回線設定を示します。

### マネージャ 1 の電話機

- 回線 1：プライマリ回線
- 回線 2：インターコム回線

### マネージャ 2 の電話機

- 回線 1：プライマリ回線
- 回線 2：インターコム回線

### アシスタントの電話機

- 回線 1：プライマリ回線
- 回線 2：マネージャ 1 用のプロキシ回線
- 回線 3：マネージャ 2 用のプロキシ回線
- 回線 4 ～ 6 は未割り当て
- 回線 7：インターコム回線

回線 4 ～ 6 は他のマネージャとのアソシエーションに使用できます。

1 人のアシスタントの電話機に複数のマネージャを関連付ける場合、プロキシ回線は、CSV データファイル内での順序に基づいて作成されます。マネージャとアシスタントの最初の回線は、すべてのプライマリ マネージャ回線を、アシスタントの電話機上の未割り当て回線にプロキシ回線として割り当てることで作成されます。アシスタントの電話機的全回線が割り当て済みになるか、CSV レコード内のすべてのマネージャが割り当てられるまで、CSV レコードの順序に基づいて、マネージャとアシスタントのプロキシ回線が 1 つずつ作成されていきます。

複数のアシスタントを 1 人のマネージャのプライマリ回線に関連付ける場合、BAT は CSV データ ファイル内での順序に基づいて、アシスタントをマネージャに割り当てます。BAT によって割り当てられるプライマリ マネージャ回線は、1 番目のアシスタントで利用可能な回線数に基づきます。たとえば、マネージャの電話機に 2 つの回線があるとします。CSV データ ファイルにある 1 番目のアシスタントが使用できるのは、1 回線だけです。結果として、BAT によって、マネージャの 1 つのプライマリ回線だけが、CSV レコードに含まれているすべてのアシスタントの電話機にある 1 つのプロキシ回線に関連付けられます。

## Unified CM Assistant マネージャの電話機の設定

表 28-3 に、マネージャとアシスタントのアソシエーションを使用する場合に、BAT がマネージャの電話機に対して設定できるすべての回線設定を示します。

表 28-3 マネージャの電話機のリターン設定

利用可能回線数	設定
1 回線	回線 1 : プライマリ回線 (Unified CM Assistant 制御) インターコム回線 (なし)
2 回線 (デフォルトの Unified CM Assistant マネージャ電話機テンプレート)	回線 1 : プライマリ回線 (Unified CM Assistant 制御) 回線 2 : インターコム回線 (オプション)
3 回線以上	最後の回線が、インターコム回線として設定されます。 プロキシ回線に関連付けられるマネージャのリターン数は、アシスタントの電話機で利用できる回線数によって決定されます。

## Unified CM Assistant アシスタントの電話機の設定

表 28-4 に、マネージャとアシスタントのアソシエーションの作成中に、BAT がアシスタントの電話機に対して設定するデフォルトのリターン設定を示します。

表 28-4 アシスタントの電話機のリターン設定

利用可能回線数	設定
1 回線	回線 1 : プロキシ回線 インターコム回線 (なし)
2 回線	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 インターコム回線 (なし)
3 回線	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 回線 3 : インターコム回線

表 28-4 アシスタントの電話機のリダイヤル設定 (続き)

利用可能回線数	設定
4 回線以上	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 : プロキシ回線 最後の回線が、インターコム回線として設定されます。 他の回線は、すべてプロキシ回線として設定されます。
7 回線 (デフォルトの Unified CM Assistant アシスタント電話機テンプレート)	回線 1 : プライマリ回線 回線 2 ~ 6 は、5 人以下のマネージャをサポートするプロキシ回線として設定できます。 回線 7 : インターコム回線

### Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャとアシスタントの電話機用のプロキシ回線の例

ここでは、それぞれ 3 つの既存回線を持つ 2 人のマネージャを、6 つの未割り当て回線を持つ 1 人のアシスタントに関連付けます。BAT は、マネージャとアシスタントの電話機に、次の回線設定を行います。

#### マネージャ 1 の電話機

- 回線 1 : マネージャのプライマリ回線 (電話番号は 2355)
- 回線 2 : マネージャのプライマリ回線 (電話番号は 2366)
- 回線 3 : マネージャのインターコム回線

#### マネージャ 2 の電話機

- 回線 1 : マネージャのプライマリ回線 (電話番号は 2656)
- 回線 2 : マネージャのプライマリ回線 (電話番号は 2666)
- 回線 3 : マネージャのインターコム回線

#### アシスタントの電話機

- 回線 1 : アシスタントのプライマリ回線 (電話番号は 3333)
- 回線 2 : マネージャ 1 のプロキシ回線 1 (電話番号は 3455)
- 回線 3 : マネージャ 2 のプロキシ回線 1 (電話番号は 3656)
- 回線 4 : マネージャ 1 のプロキシ回線 2 (電話番号は 3366)
- 回線 5 : マネージャ 2 のプロキシ回線 2 (電話番号は 3666)
- 回線 6 : 利用可能
- 回線 7 : アシスタントのインターコム回線

すでにプライマリ回線を持つマネージャ電話機を関連付けるときは、アシスタントの電話機の未割り当て回線数が、マネージャの電話機のプライマリ回線数以上である必要があります。たとえば、4 つのプライマリ回線が設定済みの電話機を持つマネージャと、3 回線だけ利用可能なアシスタントとのアソシエーションは、BAT では作成できません。

## プロキシ回線を使用した Cisco Unified Communications Manager Assistant マネージャとアシスタント用の新しい電話機の設定

プロキシ回線を使用する Unified CM Assistant マネージャとアシスタントのために新しい電話機を設定する手順は、次のとおりです。

### 始める前に

1. Unified CM Assistant 設定ウィザードを実行して Unified CM Assistant 用テンプレート、パーティション、およびコーリング サーチ スペースを作成します。
2. 1 人のアシスタントに 6 人以上のマネージャを関連付ける場合、Unified CM Assistant 用テンプレートにアクセスして、新しい名前で作成する必要があります。マネージャの追加に対応するには、テンプレートに行を追加します。

- ステップ 1** [一括管理 (Bulk Administration)] > [電話 (Phones)] > [電話テンプレート (Phones Template)] の順に選択し、対象のテンプレートを開きます。[電話テンプレートの設定 (Phone Template Configuration)] ウィンドウが表示されます。



- (注)** BAT Unified CM Assistant テンプレートは書き込み禁止なので、これらのテンプレートを変更する場合は、テンプレートのコピーを作成してから編集してください。

マネージャ電話機テンプレートのフィールドの説明は、「[プロキシ回線用のマネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」(P.28-3) を参照してください。

アシスタント電話機テンプレートのフィールドの説明は、「[プロキシ回線用のアシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」(P.28-3) を参照してください。

- ステップ 2** 次のオプションを使用して、マネージャの電話機とアシスタントの電話機に、それぞれ別の CSV データ ファイルを作成します。

- BAT スプレッドシートを使用して、[Phones] タブを選択する。
- テキスト エディタを使用して、マネージャまたはアシスタントのテンプレートのフィールドをガイドとして参照する。

- ステップ 3** 新しい電話機を挿入する手順は、「[電話機の追加](#)」(P.3-1) を参照してください。

## 既存の電話機に対する Cisco Unified Communications Manager Assistant プロキシ回線の設定

既存の電話機に、マネージャとアシスタント用の回線を設定する手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** [一括管理 (BAT Administration)] > [電話 (Phones)] > [回線の追加 (Add Lines)] の順に選択します。[電話回線の追加 (Phone Add Lines Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2** BAT 用に Unified CM Assistant テンプレートのコピーや変更が必要な場合は、次のトピックを参照してください。

- 「[表 28-1 プロキシ回線用のマネージャ電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」(P.28-3)
- 「[表 28-2 プロキシ回線用のアシスタント電話機テンプレートのデフォルト設定値](#)」(P.28-3)



(注) Cisco Unified CM Assistant 設定ウィザードの実行時に、設定情報（たとえば、パーティション名）を変更した場合は、テンプレートの編集時にもそのフィールドで同じ設定情報を使用する必要があります。

- ステップ 3** 次のいずれかのオプションを使用して、マネージャの電話機とアシスタントの電話機に、それぞれ別の CSV データ ファイルを作成します。
- BAT スプレッドシートを使用して、[Add Lines] タブを選択する。
  - テキスト エディタを使用して、マネージャまたはアシスタントのテンプレートのフィールドをガイドとして使用する。
- ステップ 4** 「既存の電話機および UDP への回線の追加」(P.10-10) の手順を参照し、既存の電話機にマネージャとアシスタントの回線を設定します。

#### 追加情報

「関連項目」(P.28-14) を参照してください。

## シェアドライン モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定

マネージャの電話機とアシスタントの電話機がシェアドラインをサポートするよう設定するには、次のタスクを実行する必要があります。

1. Cisco Unified Communications Manager でシェアドラインをサポートするための Unified CM Assistant サービス パラメータを設定する必要があります。詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』を参照してください。
2. Cisco Unified IP Phone モデル 7960 で 5 回線以上を使用する場合は、電話機ボタン テンプレートが必要です。
3. 次のガイドラインを使用してマネージャとアシスタントの電話機を設定します。

### シェアドライン モードにおけるマネージャの電話機

「電話機の追加」(P.3-1) で説明している、BAT を使用した新しい電話機の設定の手順に従ってください。

BAT テンプレートを作成し、次に示す電話機の設定を使用して、マネージャの新しい電話機を追加するか、既存の電話機を更新します。

- ソフトキー テンプレートを割り当てる：Standard Shared Mode Manager。
- 必要に応じて、アシスタントと共有するプライマリ回線を追加する。
- プライマリ回線に、ボイス メッセージ プロファイルを設定する。
- 着信インターコム回線を追加する（オプション）。
- 発信インターコムのターゲットに対して、短縮ダイヤル ボタンを追加する（オプション）。
- ユーザ ロケールを設定する。



## シェアドライン モードにおけるアシスタントの電話機

「電話機の追加」(P.3-1) で説明している、BAT を使用した新しい電話機の設定の手順に従ってください。

BAT テンプレートを作成し、次に示す電話機の設定を使用して、アシスタントの新しい電話機を追加するか、既存の電話機を更新します。

- ソフトキー テンプレートを割り当てる : Standard Assistant。
- 追加の回線に Cisco 14 ボタン拡張モジュール (7914) を使用している場合、BAT テンプレートで拡張モジュールのタイプを指定する。



(注) Cisco Unified IP Phone 7960 の電話機ボタン テンプレートには、拡張モジュール回線が含まれています。

- 個人用のプライマリ回線を追加する。
  - 関連付けられたマネージャに、シェアドラインを追加する。同じ電話番号とパーティションを、マネージャの電話機のプライマリ回線として使用する。
  - 着信インターコム回線を追加する (オプション)。
  - マネージャのインターコム回線に、短縮ダイヤルを追加する (オプション)。
  - ユーザ ロケールを設定する。
1. 既存のマネージャまたはアシスタントの電話機に回線を追加する方法については、「[既存の電話機および UDP への回線の追加](#)」(P.10-10) を参照してください。回線の設定については、次に示す項を参照してください。
    - 「[シェアドライン モードにおけるマネージャの電話機](#)」(P.28-8)
    - 「[シェアドライン モードにおけるアシスタントの電話機](#)」(P.28-9)
  2. マネージャとアシスタントについて電話機と回線を設定し終わったら、マネージャとアシスタントの回線を関連付けて Unified CM Assistant で制御できるようにします。「[マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成](#)」(P.28-10) の手順に従ってください。

## マネージャとアシスタントのシェアドラインの設定

BAT は、Cisco Unified CM Assistant の回線設定を、マネージャとアシスタントの電話機に割り当てたシェアドラインに関連付けます。シェアドライン モードは、アシスタントに関連付けるときにマネージャの設定で指定します。

シェアドライン モードでは、マネージャの回線が、アシスタントの電話機のシェアドラインに対応します。たとえば、2 人のマネージャを 1 人のアシスタントに関連付けるためには、マネージャの電話機のプライマリ回線と同じ電話番号とパーティションを持つアシスタントの電話機に、2 つの回線を追加します。

### マネージャ 1 の電話機

- 回線 1 : プライマリ回線 (電話番号は 2355)
- 回線 2 : インターコム回線 (オプション)

### マネージャ 2 の電話機

- 回線 1 : プライマリ回線 (電話番号は 2875)
- 回線 2 : インターコム回線 (オプション)

### アシスタントの電話機

- 回線 1：アシスタントのプライマリ回線（電話番号は 3356）
- 回線 2：マネージャ 1 のシェアドライン（電話番号は 2355）
- 回線 3：マネージャ 2 のシェアドライン（電話番号は 2875）
- 回線 4～6 は利用可能
- 回線 7：インターコム回線（オプション）

回線 4～6 は、他のマネージャ用のシェアドラインとして追加できます。

1 人のアシスタントの電話機に複数のマネージャの回線を追加する場合は、アシスタントの電話機にあるすべての回線でシェアドライン モードを使用する必要があります。アシスタントの電話機では、プロキシ回線とシェアドラインは共存できません。同様に、1 人のマネージャに複数のアシスタントがいる場合、すべてのアソシエーションでシェアドライン モードを使用する必要があります。

複数のアシスタントをシェアドライン モードの 1 人のマネージャに関連付けると、BAT は、シェアドライン モードを使用しているアシスタントにだけ Unified CM Assistant アソシエーションを割り当てます。

### 追加情報

「関連項目」(P.28-14) を参照してください。

## マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成

BAT を使用して、Cisco Unified Communications Manager データベースに、マネージャとアシスタントのアソシエーションを挿入する場合、新しいアソシエーションを追加することも、既存のアソシエーションを更新することもできます。

マネージャとアシスタントのアソシエーション用に CSV データ ファイルを作成するには、次の 2 つのオプションがあります。

- 「BAT スプレッドシートを使用したマネージャとアシスタントのアソシエーションの追加または更新」(P.28-11)
- テキスト エディタを使用した CSV 形式のテキスト ファイルの作成。詳細については、「マネージャとアシスタントのファイル形式」(P.A-13) を参照してください。

新しいマネージャ用のアソシエーションを作成する場合は、デバイス名を入力する必要があります。既存の Unified CM Assistant レコードでマネージャを更新する場合、これらのフィールドはオプションです。マネージャとアシスタントの電話機に BAT がどのように回線設定を割り当てるかについては、「マネージャとアシスタントのプロキシ回線設定」(P.28-4) を参照してください。マネージャ用の回線が 3 回線以上の場合、BAT では、アシスタント用のプロキシ回線にマネージャのインターコム回線を割り当てることができません。

## BAT スプレッドシートを使用したマネージャとアシスタントのアソシエーションの追加または更新

BAT スプレッドシートにはマクロを持つデータ ファイル テンプレートがあり、マネージャとアシスタントのアソシエーションを容易に追加、更新、または削除できます。BAT スプレッドシートのインストール方法と使用方法については、「[BAT スプレッドシートをデータ収集に使用する方法](#)」(P.1-9) を参照してください。

BAT スプレッドシートを使用して新しい Unified CM Assistant アソシエーションを追加する手順は、次のとおりです。マネージャとアシスタントの設定には、次の 2 つの方法を使用できます。

- デフォルトの回線設定を使用してマネージャとアシスタントのアソシエーションを作成する方法については、「[デフォルトのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成](#)」(P.28-11) を参照してください。

表 28-3 と表 28-4 は、マネージャとアシスタントの電話機のデフォルトの回線設定を示しています。

- デフォルトの回線設定に従わないプロキシ回線を割り当てる場合、カスタムのマネージャとアシスタント用のファイルを作成するための手順は、「[カスタムのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成](#)」(P.28-12) を参照してください。

## デフォルトのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成

デフォルトの設定を使用して、プロキシモードとシェアドラインモードの両方でマネージャとアシスタントのアソシエーションを挿入または更新するために CSV データ ファイルを作成する手順は、次のとおりです。

### 手順

- ステップ 1** BAT.xlt ファイルをダウンロードして開き、BAT スプレッドシートを開きます。詳細については、「[ファイルのダウンロード](#)」(P.2-2) を参照してください。
- ステップ 2** プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3** マネージャとアシスタントのアソシエーションのオプションを表示するには、スプレッドシートの下部にある [Default Managers-Assistants] タブをクリックします。
- ステップ 4** テンプレートを右側にスクロールしてオプション ボタンを表示し、このトランザクションのアソシエーションのタイプを次のうちから選択します。
  - [One manager, multiple assistants]
  - [One assistant, multiple managers]
- ステップ 5** すべての必須フィールド、および該当するオプション フィールドに値を入力します。

[One manager, multiple assistants] オプション ボタンを選択する場合は、各行に次の情報を入力します。

  - [Manager ID] : マネージャのユーザ ID を 30 文字以内で入力する。
  - [Assistant ID#] : このマネージャに割り当てるアシスタントのユーザ ID を 30 文字以内で入力する。  
# 記号は、マネージャに割り当てるアシスタントの数を表します。



(注) 別のアシスタントをさらに追加するには、[Add more Assistants] をクリックします。

[One assistant, multiple managers] オプション ボタンを選択する場合は、各行に次の情報を入力します。

- [Assistant ID] : アシスタントのユーザ ID を 30 文字以内で入力する。
- [Manager ID#] : このアシスタントに割り当てるマネージャのユーザ ID を 30 文字以内で入力する。  
# 記号は、アシスタントに割り当てるマネージャの数を表します。



(注) 別のマネージャをさらに追加するには、[Add more Managers] をクリックします。

**ステップ 6** 次のうちから、実行する操作を選択します。

- [Insert] をクリックして、マネージャとアシスタントのアソシエーションを作成します。
- [Delete] をクリックして、マネージャとアシスタントのアソシエーションから、マネージャまたはアシスタントを削除します。

**ステップ 7** [Export to BAT Format] をクリックして、BAT スプレッドシートから CSV データ ファイルにデータを転送します。

このファイルは、次の名前が付けられて、C:\¥XLSDataFiles または選択した別の既存フォルダに保存されます。

<type of operation>ManagerAssistants-timestamp.txt

<type of operation> には、ステップ 6 で選択した操作の種類が入力されます。「timestamp」は、ファイルが作成された正確な日時を表します。

CSV データ ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードして、BAT からアクセスできるようにします。詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3) を参照してください。

エクスポートされた CSV ファイルを読み取る方法については、BAT の [マネージャ / アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

#### 追加情報

「[関連項目](#)」(P.28-14) を参照してください。

## カスタムのマネージャとアシスタントの CSV データ ファイルの作成

既存の電話機にマネージャとアシスタントのアソシエーションを設定する場合は、BAT スプレッドシートの [Custom Managers-Assistants] タブを使用できます。CSV データ ファイルを作成することによって、アシスタントの電話機のプロキシ回線で、マネージャとアシスタントのアソシエーションを挿入または更新する手順は、次のとおりです。

## 手順

- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager サーバから **BAT.xlt** ファイルをダウンロードします。詳細については、「[ファイルのダウンロード](#)」(P.2-2) を参照してください。
- ステップ 2** **BAT.xlt** ファイルを開きます。プロンプトが表示されたら、[マクロを有効にする] ボタンをクリックして、スプレッドシート機能を使用します。
- ステップ 3** マネージャとアシスタントのアソシエーションのオプションを表示するには、スプレッドシートの下部にある [Custom Managers-Assistants] タブをクリックします。
- ステップ 4** [Number of Proxy Lines] ボックスが表示されるまで、テンプレートを右側にスクロールします。このボックスで、アシスタントに割り当てるプロキシ回線の数を入力します。スプレッドシートは、入力した数値に基づいて、[Proxy Line DN] と [Manager Line DN] の列を追加します。
- すべての必須フィールド、および該当するオプション フィールドに値を入力します。
- [Manager ID] : マネージャのユーザ ID を入力する。
  - [Device Name] : マネージャの電話機に割り当てられたデバイス名を入力する。
  - [Intercom DN] : マネージャのインターコム回線の電話番号を入力する (オプション)。
  - [Assistant ID] : このマネージャに割り当てるアシスタントのユーザ ID を入力する。
  - [Device Name] : アシスタントの電話機に割り当てられたデバイス名を入力する。
  - [Intercom DN] : アシスタントのインターコム回線の電話番号を入力する (オプション)。
  - [Proxy Line DN#] : アシスタントのプロキシ回線の電話番号を入力する。
  - [Manager Line DN#] : マネージャのプライマリ回線の電話番号を入力する。
- # 記号は、マネージャに関連付けるプロキシ回線の数を表します。
- ステップ 5** [Export to BAT Format] ボタンをクリックして、BAT スプレッドシートから CSV データ ファイルにデータを転送します。
- このファイルは、Custom Managers-Assistants-timestamp.txt というファイル名を使用して、C:\%XLSDataFiles または選択した別の既存フォルダに保存されます。
- CSV データ ファイルを Cisco Unified Communications Manager サーバの最初のノードにアップロードして、BAT からアクセスできるようにします。詳細については、「[ファイルのアップロード](#)」(P.2-3) を参照してください。
- エクスポートされた CSV ファイルを読み取る方法については、BAT の [マネージャ/アシスタントの挿入 (Insert Managers/Assistants)] ウィンドウで、[サンプルファイルの表示 (View Sample File)] へのリンクをクリックしてください。

## 追加情報

「[関連項目](#)」(P.28-14) を参照してください。

## 関連項目

- 「Cisco Unified Communications Manager Assistant で使用する電話機と回線の概要」 (P.28-2)
- 「マネージャとアシスタントのアソシエーション用の CSV データ ファイルの作成」 (P.28-10)
- 「Cisco Unified Communications Manager へのマネージャとアシスタントのアソシエーションの挿入」 (P.29-1)
- 「プロキシ回線モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定」 (P.28-2)
- 「シェアドライン モードでの Cisco Unified Communications Manager Assistant 用の電話機の設定」 (P.28-8)
- 「マネージャとアシスタントのアソシエーションの削除」 (P.30-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager からのマネージャの削除」 (P.31-1)
- 「Cisco Unified Communications Manager からのアシスタントの削除」 (P.32-1)

Cisco Unified CM Assistant の詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』
- 『Cisco Unified Communications Manager Assistant User Guide』